

アンケート調査の ご協力のお願い

現代社会において、10代・20代は2人に1人が、30代以上は4人に1人は推しがいるとされていて、推しや推しに関する活動である推し活は、人々にとって身近なものであると考えられます。そして多くの人が、推し活によって喜びや幸福感が得られるとされています（小城, 2018; 松本, 2022; 森山, 2022; 齊藤, 2020）。その一方で、散財やファン同士の揉め事、過度な依存など、様々なストレスが生じる可能性も存在します（Maltby, 2006; 宮崎, 2020; Reeves, 2012; Scharf, 2015）。

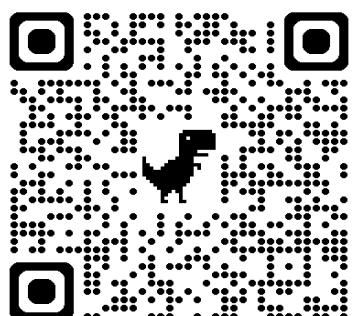
そこで本研究では、現代社会における推し活と心の健康の関連について調査したいと考えております。

対象：日本語を理解する成人（18歳以上）の男女

時間：5～10分程度

期間：第1回目調査後、1ヶ月半～2か月後に第2回目調査

アンケート調査にご協力いただける方は
右のQRコードよりお申し込みをお願いいたします
お申し込み後の辞退も可能です



お問い合わせ

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究所 人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 博士前期課程2年

森田莉子 メール：g2440327@edu.cc.ocha.ac.jp

指導教員 お茶の水女子大学 基幹研究院 石丸徑一郎教授